

令和7年度 伊形小学校 自己評価書

学校経営の経営方針	授業力の向上を核として、いつも児童が笑顔いっぱい成長することを目指し、本校校区の特性を生かしながら「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成」に努める。そのため、「導き、見守り、見届ける教育」の推進を基本理念として、教師の資質向上を図りながら組織としての意識を高め、「いつもよく学ぶ子 がんばりぬく子 たすけあい、はげまし合う子」の実現に取り組む。	
学校の教育目標	自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成	
めざす児童像	いつもよく学ぶ子 がんばりぬく子 たすけあい、はげまし合う子	
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ きまりを守り、礼儀正しく思いやりのある児童の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した基本的生活習慣の確立 ・時間やきまりを守る指導と挨拶や礼儀指導の徹底 ・豊かな心を育む指導の推進 ○ 基礎的・基本的内容の習得と学習・読書活動の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導の充実 ・家庭と連携した学習習慣の定着 ・読書の習慣化 ○ ふるさと伊形を大切に教育の充実と地域に貢献する人づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域素材、人材を積極的に活用した体験活動や交流活動の充実 ・ふるさと教育、キャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康安全・防災教育の推進と教育環境の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校の未然防止や早期発見 ・危機回避能力育成 ・運動の日常化につながる体育科授業 ○ 保護者・地域の信頼と期待に応える学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実 ・PTA活動の充実、活性化 ・幼保小中連携の推進 <p>未熟</p>

学校の教育活動等の評価（4段階評価）

4：よくあてはまる	3：ややあてはまる	2：あまりあてはまらない	1：全くあてはまらない
-----------	-----------	--------------	-------------

評価内容		評価	自己評価	学校運営協議会委員の意見	
		R7			
確かな学力	1	学校は、児童が自ら学び、友達と学び合い高める力を身に付けるような学習活動になるよう工夫している。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひなたの学び」を意識した学習を展開したことで、特に仲間と共に楽しく意見を交流し合う姿が見られるようになった。 ○ 学校協力者・保護者の皆様のご協力により、多くの体験活動の充実を図ることができ、ふるさと教育の充実を図ることができた。本年度も婦人会の方の協力を得ながら伊形地区の郷土料理の「だご汁」づくりを行うことができたことも大きな成果である。 ○ 読書に親しむ姿は見られるが、習慣化を図れる手立てが不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心豊かさも大切だが、学力向上も大切にして欲しい。 ○ 伊形小は、地域の方々と連携を図った体験活動が充実しており、地域の方々も子どもたちから元気をもらっている。今後も保護者・地域の方々との連携を大切にしていきたい。 ○ 毎年、読書への取組に課題が見られる。週末の宿題として読書に取り組みせたり、親子読書に取り組みせたり、手立てを講じながら読書の習慣化を図っていただきたい。 また、読んだ後に感想を書かせる等の取組も取り入れてはどうだろうか。 ○ 学校図書館の本を保護者も貸し出せるようにできないだろうか。検討していただきたい。
	2	学校は、個に応じたきめ細やかな指導の充実と基礎的・基本的な学習内容の定着を図っている。	3.2		
	3	学校は、地域素材・人材を積極的に活用し、ふるさと伊形を大切に教育の充実を図っている。	3.6		
	4	子どもたちは習慣的に読書をしている。	2.4		
豊かな心	5	学校は、いじめや差別のない温かい人間関係づくりに努めている。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手を思いやる言動が見られずトラブルになったり、規範意識が低く学校・学級のきまりが守れなかったり、生徒指導面での課題が多く見られる結果となった。今後は、全職員で指導の徹底を図ることはもちろん、より一層関係機関との連携を図ったり、校内の支援体制づくりの工夫を行ったりしながら、落ち着いた学習環境を整え、温かい人間関係づくりに努めていきたい。 ○ 3学期から、高学年を中心にあいさつ運動に取り組むことで、あいさつに対する意識を高め、活気あふれる学校づくりを行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつは、社会に出ても大切なものであり、人と関わる上で基本となるので、是非、「自分から誰にでも」あいさつできる子どもたちを育てていただきたい。 ○ あいさつ運動は、とてもよい取組なので、今後は子どもが主体的に取り組めるようにしていただき、子どもたちのあいさつへの意識を高めてもらいたい。 ○ 保護者の方も仕事をしながらの子育てで、ゆとりがもてないご家庭もあると思うが、子どもたちと共に過ごす時間や、子どもへの言葉かけを大切にしながら、子どもたちの自己肯定感を高めていただきたい。
	6	子どもたちは、あいさつや返事、言葉遣いなど、相手を大切にしている言動ができている。	2.7		
	7	子どもたちに、友達や周りの人への思いやりのある言葉かけ等をする態度が見られる。	2.9		
	8	子どもたちに、「幸動」（自他の幸せのために学び行動する子ども）を意識した態度が見られる。	2.9		
健やかな体	9	子どもたちは、外遊びやスポーツなど、日常的に運動している。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担任の呼びかけにより、昼休みに運動場で楽しく遊ぶ姿が多く見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価としては昨年同様の評価だったので、よかったのではないかな。今後も、昼休み時間は、運動場で体を動かすように呼びかけ、体力向上に努めていただきたい。
	10	子どもたちは、生活リズム（早寝、早起き、朝ご飯）が身に付いている。	3.0		

	11	子どもたちは、進んで決まりを守り、安全に行動している。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育学習の始めに3分間走を取り入れながら体力向上に努めている。 ○ 安全に行動しようとする姿が見られ、登下校中のけがや放課後等のけがは随分減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後のけがが減っていることを聞き安心できた。今後も、学校外での過ごし方の指導も大切にしていきたい。 ○ 体調不良や様々な事情がある場合を除き、できるだけ歩いて登校するように家庭に働きかけてもらいたい。
地域・保護者	12	保護者は、様々な学校行事に協力することができている。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者との連携を図った取組に対して、多くの保護者の方が協力的であり、子どもたちの活動を大きく支えていただいた。 ○ 懇談会への参加率を上げられるように、全校懇談会を設定したり、懇談会の内容の工夫を図ったりしたが、参加率を上げることができなかった。 ○ 夜遅くまで、ゲームや動画視聴をする児童も見られ、欠席・遅刻すること姿が度々見られた。基本的な生活習慣の重要性を保護者に訴えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PTAバザーも、大変盛り上がりしており子どもたちの笑顔がたくさん見られた。また、頑張っている保護者の姿・PTA活動を楽しんでいる保護者の姿を子どもたちが目にするのができたこともよかった。 ○ 懇談会の参加率を上げられるように、学級の実態に合ったテーマや保護者のニーズに合ったテーマで話し合いを行わせるなどの工夫を行い、参加率アップを目指してもらいたい。 ○ 懇談会に残りたくても残れない保護者の方もいると思うので、5月以外にも随時個人面談を取り入れるなどの工夫を行ったらどうだろうか。 ○ 早寝・早起き・朝ごはんの規則正しい生活リズムを整えることの大切さを、今後も子どもたちや保護者に伝えてもらいたい。
	13	保護者は、様々なPTA活動の充実に向けて協力することができている。	3.0		
	14	保護者は、子どもが集中して学習に取り組める家庭環境作りに努めている。	2.8		
	15	保護者は、子どもの基本的な生活習慣を整えるよう努力している。	3.0		

※ 評価の数字は保護者と教職員の評価を平均して算出。

※ 学校運営協議会を受けて、今後取り組みたい事項

今後取り組みたい事項	
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 週末の宿題として読書を行わせるなど、様々な取組を行い児童の読書意欲を高めていく。 ○ 伊形小「家庭の日・地域の日」は、教育課程には組み込まれているものの、学校から家庭での取組に対して啓発することができなかった。「家庭の日・地域の日」には、「絆づくり」として家庭読書に取り組んでいただくよう呼びかけ、読書に親しむ機会を増やしていく。
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後は、主体的に児童が取り組める「あいさつ運動」を推進し、豊かな心を育てていく。 ○ 本年度から取り組んでいる SWPBS の取組を次年度も継続し、全児童が落ち着いた学習環境の中で、楽しく学習できる環境づくりを目指す。 ○ 落ち着いた学習環境を整えるには、学校と家庭との連携が重要となるため、懇談会では同じテーマで話し合っていたなど工夫を行っていく。 (例) 7月の懇談会「自己肯定感を高めるために家庭で取り組むこと」等
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体調不良や様々な事情がある場合を除き、できるだけ歩いて登校するように家庭に働きかけていく。 ○ スクールスポーツプランを中心にしながら、子どもたちの体力向上を図っていく。
その他 (成果・課題)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に「あいさつでつながる【伊形町】」というテーマで熟議を行った後で、あいさつの幟旗を作成し、高学年が中心となってあいさつ運動に取り組むことができるようになったこと ・本年度も5年生が、下伊形地区の「えびす会」の方々のご支援・ご協力により、伊形地区の郷土料理である「だご汁」の調理実習を行うことができ、win-win の関係を築き上げることができたこと ・地域の方、学校協力者のサポートにより、長年苦慮していた芋畑の整地を行うことができ、本年度は芋の収穫量が多くなり、焼き芋の活動では子どもたちから大歓声が上がったこと ・5年生が毎年行っている「餅つき」では、餅つきに必要な様々な道具を市の補助金から購入させていただき、本年度はさらに大成功の体験活動となったこと <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して、学校運営協議会委員の方や学校安全ボランティアの方々の周知を図る必要がある。 ・児童の読書量アップと参観日の懇談率アップを目指して取り組む必要がある。

